

奈良県医療費適正化計画(H25～29年度)の進捗状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	進捗状況	備考
住民の健康の保持の推進										
特定健康診査の実施率(%)	32.7%	33.5%	35.5%	37.5%	—	—	—	65%以上	年々増加している。	
特定保健指導の実施率(%)	13.1%	13.0%	14.6%	16.4%	—	—	—	45%以上	増加傾向にある。	
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(%) (H20年度比)	-1.7%	-2.9%	-1.2%	0.1%	—	—	—	25%以上	改善傾向にあり、平成25年度に減少に転じている。	
たばこ対策(喫煙率)	15.0%	14.2%	14.1%	15.0%	14.0%	—	—	12%以下	減少傾向にある。	
医療の効率的な提供の推進										
医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日)	28.1	27.6	27.3	26.9	26.2	—	—	引き続き減少	年々減少している。	
医療に要する費用の見通し										
医療費(億円)	—	4,229億円(実績)	4,295億円(実績(推計))	4,385億円(実績(推計))	—	—	—	(適正化前) 5,107億円 (適正化後) 4,984億円	適正化を推進した場合の平成25年度の推計額4,483億円を98億円下回っている。	
独自に設定している目標										
がん検診の実施率	胃26.6%、肺15.8%、大腸23.8%、子宮22.2%、乳房23.5%	胃29.4%、肺19.2%、大腸25.9%、子宮27.1%、乳房27.3%	胃34.5%、肺30.2%、大腸31.1%、子宮25.6%、乳房27.3%	胃35.8%、肺34.3%、大腸36.0%、子宮31.3%、乳房34.5%	胃34.7%、肺31.0%、大腸33.9%、子宮29.0%、乳房31.4%	—	—	50%以上(5種類のがん検診のいずれも)	横ばい傾向にある。	なら健康長寿基礎調査において、「なら健康長寿基本計画」の重点健康指標のうち、医療費の適正化に資する4指標を県独自の目標として設定。 【出典】なら健康長寿基礎調査(毎年実施)
運動習慣のある人の割合(20歳以上)	43.8%	35%	36.4%	43.1%	43.6%	—	—	43%以上	目標値を超え、増加している。	
日本型食生活の実施率	—	—	47.1%(87.2%)	36.5%(87.1%)	34.9%(87.4%)	—	—	49.5%以上	アンケート調査の選択肢のうち、「ほとんど日本型食生活である」を選択する割合を目標に設定。なお、「日本型食生活であることが多い」を選択した場合を含めると、下段の()書きのとおり増加傾向にある。	
歯科検診の受診率	35.9%	36.5%	36.9%	40.2%	40.9%	—	—	45%以上	年々増加している。	

注1)平成22年度以降の各データの最新実績値まで記載。

注2)メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率は、性・年齢階級別に該当者数の割合を算出し、階級毎の人口をかけることで該当者数を算出。

注3)平均在院日数の出典は「病院報告」であるが、年度単位ではなく年単位の統計のため、表中「平成〇年度」を「平成〇年」と読み替えて記載。

注4)平成23年度の医療費は都道府県別国民医療費を記載。

注5)がん検診受診率 平成22年度～平成24年度 40才以上(子宮がん20才以上)、平成25年度・平成26年度 40～69才(子宮がん20～69才)(平成24年度に策定された国のがん対策基本計画において受診率の算定は40才～69才(子宮がん20～69才)を対象とするよう定められたため)